

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 10 日 (2006.8.10)

【公開番号】特開 2005-136486 (P2005-136486A)

【公開日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【年通号数】公開・登録公報 2005-020

【出願番号】特願 2003-367476 (P2003-367476)

【国際特許分類】

H 0 4 Q 9/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 Q 9/00 3 0 1 E

H 0 4 Q 9/00 3 2 1 E

H 0 4 N 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 27 日 (2006.6.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザ操作に従った赤外線コマンドを送信する赤外線リモコンと、
赤外線コマンドを受信して無指向性の無線通信コマンドにプロトコル変換して転送する
マスタ機器と、
前記マスタ機器からの無線通信コマンドを受信するスレーブ機器と、
を具備することを特徴とする機器制御システム。

【請求項 2】

前記の無指向性無線通信は I S M バンドを使用する B l u e t o o t h 通信であり、
前記マスタ機器は、B l u e t o o t h マスタとして動作して自己のピコネット内で B
l u e t o o t h スレーブとして動作するスレーブ機器へ B l u e t o o t h コマンドを
転送する、
ことを特徴とする請求項 1 に記載の機器制御システム。

【請求項 3】

前記マスタ機器は、受信した赤外線コマンドが自己宛であればデコードして対応する機
器動作を起動し、自己宛でなければ無指向性の無線通信コマンドにプロトコル変換して周
辺の機器へ転送する、
ことを特徴とする請求項 1 に記載の機器制御システム。

【請求項 4】

前記スレーブ機器は、前記マスタ機器から自己宛の無線通信コマンドを受信したこと
に
応答して、コマンドをデコードして対応する機器動作を起動する、
ことを特徴とする請求項 1 に記載の機器制御システム。

【請求項 5】

前記スレーブ機器は、前記マスタ機器からの無線通信コマンドを受信する無線通信部と
ともに前記赤外線リモコンからの赤外線コマンドを受信する赤外線受光部を備え、前記赤
外線リモコンから直接受信した赤外線コマンドが自己宛であればデコードして対応する機
器動作を起動する、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の機器制御システム。

【請求項 6】

前記スレーブ機器は、前記マスタ機器からの無線通信コマンドを受信する無線通信部と、無線通信コマンドを赤外線コマンドに変換するプロトコル変換部と、赤外線コマンドを送信する発光部を備え、前記マスタ機器からの無線通信コマンドを受信したことに応答して、赤外線コマンドの受信部を持つ他のスレーブ機器へ赤外線コマンドとして転送する、ことを特徴とする請求項 1 に記載の機器制御システム。

【請求項 7】

赤外線コマンドを受信する受光部と、
受信した赤外線コマンドを無指向性の無線通信コマンドにプロトコル変換するプロトコル変換部と、
無指向性の無線通信コマンドを送信する無線送信部と、
を具備することを特徴とする電気電子機器。

【請求項 8】

無指向性の無線通信コマンドを受信する無線受信部と、
受信した無指向性の無線通信コマンドを赤外線コマンドにプロトコル変換するプロトコル変換部と、
赤外線コマンドを送信する発光部と、
を具備することを特徴とする電気電子機器。